



会に行けるヒーロー 人気投票で全国グランプリ受賞!!

コウノトリマン(2万3歳)神鍋山火口付近



全国から42体がエントリーした「スキー場キャラクターグランプリ2015」で、グランプリを受賞したのがコウノトリマン(本名:ジオ・ストーク・ボルケーノ)です。約2万年前に、神鍋山の噴火と共に誕生。コウノトリアーマーを着て、仕事を始めて3シーズン目になります。主な仕事は、アップかななベスキーマのパトロール。記念撮影や「プリンセス」と言えば「お姫様抱っこ」にも応じます。特技はスキーと工作。コウノトリアーマーは手作りです。

ボディーカラーの赤と黒は神鍋溶岩流、額の角飾りはコウノトリの翼がモチーフです。「会に行けるヒーロー!」として、シーズン中は、ほぼ毎日ゲレンデに出動。夏はグラススキーやマウンテンボードで活躍しますが、若干暑さには弱いとのこと。今回の受賞で「応援してくれたファンみんなに感謝。これからもゲレンデの安全とみんなの笑顔を守る」と決意を新たにしています。※出張依頼はアップかななベ(株)まで ☎45-1545

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲親子で作るおひな様とお内裏様

ひなまつり

女の子の健やかな成長を祈り

3月3日、竹野子育てセンターで、ひなまつりが開催され、35人の乳幼児と母親らが桃の節句を祝い、女の子の健やかな成長を祈りました。

親子で牛乳パックに折り紙を貼り、世界で一つだけの「おひな様・お内裏様」を作成した他、錦糸卵とのりで彩った「おひな様・お内裏様おにぎり」をみんなで食べました。

また、たけの観光協会職員の扮したおひな様とお内裏様が登場した際には歓声上がり、乳幼児らはお礼にダンスを披露しました。

1歳の子どもと参加した谷口るみ子さん(竹野町轟)は「季節の行事をみんなで楽しむことができてありがたい」と話していました。

川尾朋子教育講演会

「瞬間」の大切さを知ってほしい

2月23日、弘道小学校で「川尾朋子教育講演会」が開催されました。川尾さんは同小出身で、NHKの大河ドラマ「八重の桜」のオープニング映像に作品が使われるなど、国内外で活躍する書家です。

書道の堅苦しいイメージを覆したくて始めたという書道パフォーマンスでは、子どもころからずっと好きで、今も影響を受けているという同小の校訓「強く 明るく うるわしく」を大書。約260人の参加者から大きな拍手が起こりました。

「書と共に生きる」と題した講演では、卒業を控えた6年生たちに「卒業すれば会えない友達もいる。書き直しの利かない書のように、その瞬間瞬間を大切にしてほしい」とメッセージを送りました。



▲躍動感あふれる書道パフォーマンス



「広報とよおか」は、環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。